

平成 3 0 年度 第 3 回外部評価委員会

事務事業評価・年次事業評価シート

年次事業評価シート（指定管理者の業務に係る事業の評価）

【施設の概要】

所管課名	長寿介護課
施設名	高齢者福祉施設 やしお苑
施設所在地	八潮市大字南川崎 2 1 0 番地 1
設置の目的	高齢者の福祉の増進を図るため。
指定管理者	社会福祉法人 名栗園
指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
評価期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
指定管理者に求めるもの	民間事業者も含めた多様な団体の活力や柔軟な発想を活かし、利用者本位の柔軟なサービスを提供し、効率的な経営の推進を図ること。

【指定管理者が行う主な業務の内容】

- (1) 老人デイサービスセンターの通所者に入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他の便宜を供与すること。
- (2) 特別養護老人ホームの入所者を養護すること。
- (3) 老人福祉法施行規則第7条に規定する援助を総合的に行うこと。
- (4) やしお苑設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

【管理経費の収支状況】

		直営最終年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29-H28)
収入(円)	管理料	—	0	0	0
	利用料金収入	—	512,385,829	505,330,701	▲ 7,055,128
	その他	—	395,942,432	223,975,132	▲ 171,967,300
支出(円)	運営費	—	122,549,426	128,904,966	6,355,540
	人件費	—	324,517,795	346,974,821	22,457,026
	維持管理費	—	0	0	0
	その他	—	328,026,001	121,211,302	▲ 206,814,699
収支(円)		—	133,235,039	132,214,744	▲ 1,020,295

※詳細は別添「自己評価表」参照

【施設の利用状況】

	平成28年度	平成29年度	比較
開館日数(日)	365	365	0
来館者数(人)	2,791	2,910	119

※詳細は別添「自己評価表」参照

【活動指標】（事務事業評価から引用）

	単位	平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績
事務事業評価対象外					

【成果指標】（事務事業評価から引用）

	単位	平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績
事務事業評価対象外					

【利用者満足度調査結果】（抜粋）

	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	非常に不満	合計
指定管理者に対する評価(総合評価) (人)	30	18	1	0	0	49
割合(%)	61.2%	36.7%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
利用者満足度指数	4					

【サービスの向上】(指定管理者が運営を行うことによりサービスが向上したものについて記述)

高齢者福祉施設の経営主体として、安定した施設運営が行われており、利用者満足度も良好となっている。施設入所者などに対する介護サービス向上のための積極的な取り組みは、高い評価を得ており、引き続き、施設介護に対する家族の理解を深めていただきたい。

【年次事業評価結果】

※評価が「C」の場合は、その改善策等の特記事項に記入する。

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
①開館時間				
開館予定日、開館時間は守られているか	開館日数、時間数が守られていたか関係書類により確認する	介護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護それぞれの運営規程が整備されており、それらに基づき運営がなされていることを確認し、開館日数、時間数ともに守られていた	A	
②管理執行体制に関する事項				
業務を遂行するための必要な職員は確保されているか	職員の配置を就労関係書類などにより確認する	職員は、老人福祉施設台帳等に基づき適正な体制が配置されていることを確認し、業務に必要な職員が確保されていた。また、シフトを組んで対応しており、夜間の職員は宿直日誌を作成し、引継ぎを行っている	A	
業務の処理に適した執行体制や処理過程におけるチェック機能が確保されているか	体制の状況について現状を確認する 業務処理を確認できる各種規定などにより確認する	業務分担表に基づいて業務を行っていることを確認し、業務処理に適した体制が確保され、チェック機能が確保されていた	A	
業務に従事する職員は、関係法令を遵守しているか	研修会の開催等関係書類により確認する	内部で勉強会を実施しており、資料を閲覧できるようにすることで、参加出来ない職員においても周知を行っていることを確認し、関係法令は遵守されていた	A	
③個人情報の保護				
八潮市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱われているか	条例違反の有無について関係書類やヒアリングにより確認する	個人情報管理規程等を作成し運用していることを確認し、鍵のかかるキャビネットに保管する等適正に取り扱われていた	A	
個人情報の管理及び取り扱いに係るマニュアル等の作成がなされているか	作成状況及びその内容について確認する	個人情報保護に対する基本方針や個人情報管理規程を策定して運用していることを確認し、問題はなかった	A	
④利用者への対応及びサービス等の向上				
事業計画に基づいた行事は行われているか	関係書類等により確認する	事業報告書にて確認し、計画どおり実施されていた	A	
利用者へのアンケート調査などを実施し、自己分析や業務改善を行っているか	関係書類等により確認する	平成29年度利用者調査票にて確認し、自己分析等実施されていた 調査期間は平成30年3月1日から4月30日まで実施し、49件の回答を得た	A	
市民からの苦情等のトラブルの対応は適切に行われているか	関係書類等により確認する	関係資料から、平成29年度においては、市民からの苦情等大きなトラブルは発生していないことを確認した。 苦情等の際には、マニュアルを作成しており、適正に対応できる体制が整っていた	A	
職員育成のための研修は行われているか	関係書類等により確認する	内部で研修計画を作成していることを確認し、研修計画に基づき研修を実施していた。また、外部での研修も積極的に参加をしていた	A	

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑤利用許可業務				
利用料金は適正に設定されているか	利用料金が市と協議した設定となっているか確認する	条例に基づく利用料金承認申請書を確認し、適正に設定されていた	A	
利用料金の減免の手続きは適正に行われているか	関係書類等により確認する	負担限度額申請状況を確認し、適正に行われていた	A	
利用料金の徴収は適正に執行されているか	利用料金の徴収が適正に執行されているか確認する	決算報告書を確認し、適正に徴収されていた	A	
利用者の公平な選考を行っているか	事業計画及び関係書類により現状を確認する	やしお苑入居取扱規程を作成していることを確認し、規程に基づき公平に選考されていた	A	
⑥施設設備及び物品の維持管理				
各部の施設維持管理が良好な状態に維持されているか	正常に維持されているか、保守点検や修繕の状況について関係書類及び現状を確認する	法定点検の実施や職員による目視点検を定期的に行っていることを確認し、施設の維持管理が適正に行われていた	A	
施設の改修・修繕は市と協議の上で行われているか	修繕の箇所、経緯について関係書類を確認する	市との協議により行われている	A	
施設の保安管理が適切に行われているか	施設の警備状況について関係書類及び現状を確認する	鍵の施錠は当直者が行う等のルールを定めていることを関係書類及び現状から確認し、適切に行われていた	A	
清掃業務等が適切に行われているか	業務範囲が的確に処理されているか関係書類により確認する	清掃作業職員を雇用していることを関係書類で確認し、業務範囲内で施設が清潔に保たれていた	A	
安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされているか	施設の安全衛生管理の状況について関係書類及び現状を確認する	安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされていることを関係書類で確認し、全職員を対象とした健康診断を実施していた	A	
物品（備品）の管理は適切に行われているか	台帳により確認する	備品台帳を確認し、適正に管理されていた	A	

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑦経費の執行管理				
経費を効率的に運用する工夫はされているか	関係書類やヒアリングにより確認する	こまめな消灯や空調切替等、無駄なエネルギー消費を抑えており、ヒアリング等により、常時整理整頓を心がけていることを確認し、不要なものをため込まないようにしていた	A	
経費を適正に執行管理するための体制が確保されているか	体制の状況について現状を確認する	経理規程に基づき金額の多いものは理事会を通すなど、執行管理体制が確保されていることを確認し、法人内部監査も定期的に実施していた	A	
資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	経理内容について帳簿及び関係書類により確認する	経理内容について、根拠となる資料等適正に管理されていることを帳簿等で確認し、経理内容の明確化が図られていた	A	
経費に係る経理規程等の整備が行われているか	作成状況及びその内容について確認する	経理規程が整備されていることを確認し、問題はなかった	A	
⑧その他の事項				
業務の一括委託などは行われていないか	委託契約書等の関係書類で確認する	委託契約書等により、業務の一括委託などは行われていないことを確認し、問題はなかった	A	
賠償保険に加入しているか	保険証書等により賠償保険の保険内容等を確認する	保険証書等を確認し、社会福祉事業者総合保険に加入していた	A	

【指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析】

(1) 指定管理者自己評価	
平成29年度は昨年度に引き続き「ユニットケアの推進」を行った。ユニットごとにレクリエーションを行ったり、昼食会を企画するなど、特徴を持たせている。一人ひとりの1日の過ごし方を1時間ごとに把握し、その時々で必要な介助方法を統一していくため、「アセスメントシート」の作成を開始した。このシートは利用者のより詳細なケア内容を検討する材料となることから、利用者の個別ケアの実現に向けた取り組みとして今後も推進していく。	
(2) 業務改善に向けた分析	
利用者本位、個別ケアの考え方については、施設内研修や外部研修を活用し理解を深めるよう取り組んでいく。介護ロボットについて、推進チームを発足させ、少人数の利用者、職員を対象とし、技術の習得と利用者、職員ともに負担のない活用場面を検討していく。	

【所管課所見】

高齢者福祉施設の経営主体として、安定した施設運営が行われており、利用者満足度も良好となっている。また、施設入所者などに対する介護サービス向上のための積極的な取り組みは、高い評価を得ている。引き続き、施設介護に対する家族の理解を深め、安定的な管理・運営に努めていただきたい。	総合評価
	A

事務事業評価シート(対象:H29年度実施事業)

事務事業名		小規模保育事業		所属コード	1352000		位置付け	主要事業		■ 総合戦略		■ 市長公約	
部	子育て福祉部			実施主体	● 市		● 県		● 国		● その他		
課	保育課			継続年数	● 5年以下		● 6~10年		● 11~15年		● 16年以上		
係・担当	保育係			根拠法令等	● 有		[子ども・子育て支援法、児童福祉法]		● 無				
担当者名	長岡 洋行		内線	884		事業の対象	● 全市民		■ 市民の一部		● 内部職員		
予算科目	会計	01	款	3	項	2	目	2	事業	6	その他 []		
事業目的	0歳児から2歳児までの低年齢児の保育需要に対応するために、定員6人~19人の小規模保育施設において、児童の保育を行う。						事業概要	民間の認可保育所と同等の保育を提供する。 また、小規模保育事業に対して、国の基準に基づく地域型保育給付費を支出する。					

単位：円		H28決算	H29予算	H29決算	H30予算
事業費 (A)		197,454,655	249,842,000	221,900,108	248,297,000
事業費の内訳	委員報酬				
	物件費				
	維持補修費				
	扶助費				
	補助費等	197,454,655	249,842,000	221,900,108	248,297,000
	普通建設事業費				
その他					
財源の内訳	国庫支出金	88,937,780	118,188,000	100,364,835	88,682,000
	県支出金	44,018,890	60,260,000	49,901,917	44,575,000
	市債				
	その他				
一般財源	64,497,985	71,394,000	71,633,356	115,040,000	
職員数 (人/年)		0.50	0.80	0.80	1.00
職員人件費 (B)		4,007,956	6,981,600	6,412,729	8,727,000
総事業費 (A+B)		201,462,611	256,823,600	228,312,837	257,024,000
人件費率 (B/(A+B))		2.0%	2.7%	2.8%	3.4%
予算執行率 (職員人件費除く)		—	—	88.8%	—

事業の実施状況 (見込み)	
平成28年度	0歳児から2歳児までの低年齢児の保育を行うため、家庭保育室から移行した2か所(定員30人)と、新たに開設した4か所(定員57人)の、合計6か所の小規模保育施設(定員87人)において、低年齢児の保育を行った。 しおどめ保育園小規模認可 定員15人 みひかり保育園 定員13人 ふえありい保育園八潮駅南口園 定員15人 ふえありい保育園八潮中央園 定員14人 もりまさ保育園 定員18人 おひさま保育園 定員12人
平成29年度	0歳児から2歳児までの低年齢児の保育を行うため、市内の小規模保育施設において、低年齢児の保育を行った。 小規模保育施設 6か所 定員87人
平成30年度	0歳児から2歳児までの低年齢児の保育を行うため、市内の小規模保育施設において、低年齢児の保育を行った。 小規模保育施設 6か所 定員87人

活動指標名	単位		平成28年度	平成29年度	成果指標名	単位		平成28年度	平成29年度
小規模保育事業の入所人員 (年間延べ人数)	人	計画	900	900	待機児童者数	人	目標	0	0
		実績	989	1126			実績	0	16
		計画					目標		
		実績					実績		

■事業の評価 (H29年度の事後評価)

①必要性の評価		評価者名	小林 淳一
当該事務事業について市が関与する必要性			
● A:非常に高い		● B:高い	
● C:ある程度認められる			
判断理由	<input type="checkbox"/> 法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている <input type="checkbox"/> 事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがある <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある <input type="checkbox"/> 当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 設置について市が認可したため。		

②目標達成度の評価	
H29年度の目標達成度	
A:達成した(100%) ● B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)	
判断理由	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した
	達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入) 平成29年4月時点において待機児童が「16人」発生したものの、活動指標の計画人数を上回る児童の受け入れができた。

③実施内容・方法の評価	
成果向上やコスト削減のための見直しの余地	
余地が大きい ● 余地がある ● 余地が全くない	
判断理由	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある <input type="checkbox"/> 事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる <input type="checkbox"/> 社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる <input type="checkbox"/> 成果を高める工夫が考えられる
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 国が定める公定価格では運営が難しいことから、補助金を交付することで保育所の運営を安定させる必要がある。

④公平性の評価	
i. 受益者が一部に偏っているか	
偏りがある ● やや偏りがある 偏りがない 非該当	
ii. 受益者負担の見直しの余地	
● 余地がある 余地がない 受益者負担がない 非該当	
判断理由	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる <input type="checkbox"/> 国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している <input type="checkbox"/> 受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている <input type="checkbox"/> 使用料・手数料等の見直しから5年以上経過している

■計画期間を通じての課題と対応策

課題	評価時点で認識されている問題・課題		
	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
考えられる対応策	八潮駅周辺の開発に伴い平成29年4月時点においては待機児童が「16人」であった。今後も0歳児から2歳児までの低年齢児に対する保育需要の増加が見込まれることや、公立保育所の経年劣化・耐震化等への対応について、民間事業者の活用(民営化)を含めた対応についての検討が必要である。 0歳児から2歳児までの低年齢児に対する保育需要の増加や、公立保育所の経年劣化・耐震化等への対応として、民間事業者を活用した保育所や認定こども園の整備を進めていくことを検討する。		

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

- ☆☆☆: 順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)
- ☆☆: 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)
- ☆: 遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価	判断理由
☆☆ 概ね順調	平成29年4月時点において待機児童は「16人」発生したものの、活動指標の計画人数を上回る児童の受け入れができた。また、八潮駅周辺の開発に伴い、低年齢児に対する保育需要の増加や、公立保育所の経年劣化・耐震化等への対応として、民間事業者を活用した保育所や認定こども園の整備を進めていくことを検討する必要がある。

■今後の方向性(計画期間を通じての方向)

方向性	●:現状のまま継続	●:休止・廃止	●:終了・完了
	●:見直して継続	●:他事業と統合して継続	
経営資源(H30年度比)	事業費 ● 増加 現状維持 削減 労働量 ● 増加 現状維持 削減		
今後の実施方針(改善方針)	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 手段を改善 <input type="checkbox"/> 効率・簡素化 <input type="checkbox"/> その他		
	低年齢児に対する保育需要の増加や、公立保育所の経年劣化・耐震化等への対応として、民間事業者を活用した小規模保育施設の整備を進めていくことを検討する。		